

教育だよりちば

2025年
(令和7年)
4月号

vol.138

●発行:千葉市教育委員会 ●編集:教育総務部企画課 〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号 TEL:043-245-5908 FAX:043-245-5990
●「教育だよりちば」は、年4回(4月・7月・10月・1月)発行。HPやスマホアプリでも閲覧できます。

教育だよりちば

検索



キラキラ先生 集合!

千葉市学校教育の魅力を紹介します。
子どもたちが笑顔で、目をキラキラ輝かせながら
学ぶ姿が学び舎いっぱいにあふれていました。

創造
& 表現
豊かな先生



大森小学校

明朗
快活
な先生



真砂西小学校

体育委員会主催 運動に親しむ取組み。その名も「逃走中!」

真摯
に向き合う
先生



市立養護学校(中学部)

楽しい教室・夢広がる学校づくり

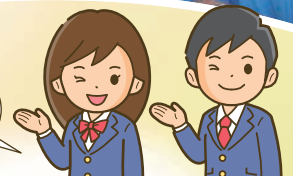
子どもたちが主役となる学校生活の創造を目指し、
子どもたち及び保護者の皆様が「千葉市で学んで
よかった」「千葉市で学ばせてよかった」と思って
いただけるような教職員を育成します。

愛情
あふれる
先生

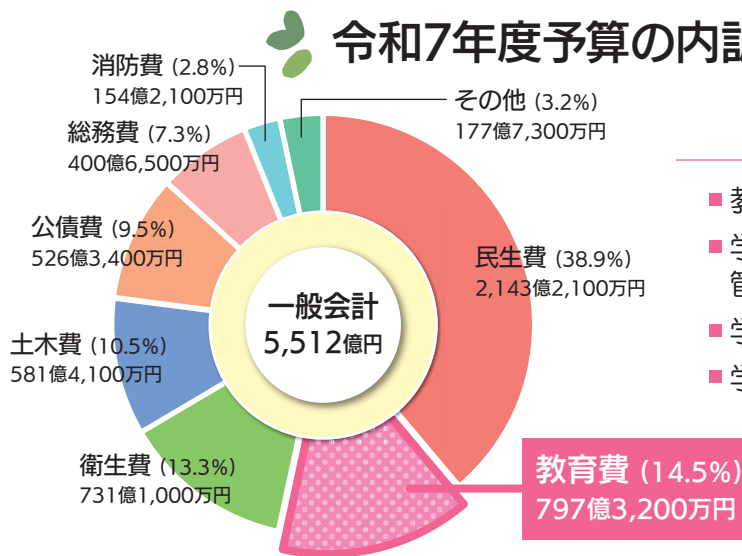


椿森中学校

続きは2面・3面へ



令和7年度予算の内訳



主な使い道

- 教職員の人件費
- 学校など施設の改修費・管理運営費
- 学校給食関係費
- 学校備品の購入費 など



教育長
つるおか かつひこ
鶴岡 克彦

令和7年度 教育

教育環境の整備

● 冷暖房設備整備

熱中症事故の防止や災害時における避難所としての機能充実を図るため、体育館の冷暖房設備工事に着手します。

● 学校施設の環境整備

安全・安心な教育環境を確保するとともに、建物の長寿命化を図るため、老朽化した学校の大規模改造、外部改修を実施します。



学校教育

● 小学校体育活動推進

児童の泳力向上、教職員の指導力向上及び負担軽減、学校プール施設の維持管理費削減等を目的とし、スイミングスクールにおける水泳学習を拡充していきます。

● 地域クラブ活動推進

少子化が進む中、将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、全ての市立中学校・中等教育学校で実証事業を行います。

ピカピカから キラキラへ

新規採用を経て、2年目を迎える先生方を取材しました。

先輩教員の支援、そして子どもたちからパワーをもらい大きく成長した様子が伝わってきました。

生徒の前では笑顔心を心がけ、接しやすい雰囲気づくりをしています。一人ひとりの気持ちに寄り添って、話を聞いてあげられるような養護教諭になりたいです。



幸町第一中

私たちに寄り添って、手当てしたり相談にのったりしてくれるところが素敵！
(生徒より)

入学・進級おめでとうございます。

児童生徒の皆さん、保護者の皆様にとっては、新たな環境で始まる学校生活に対して、期待感と少し不安な気持ちが入り混じる時期かもしれません。

千葉県では、目指すべき子どもの姿を「夢と思いやりの心を持ち、未来を拓く子ども」として、自ら未来を拓いていくことができる子どもの育成に取り組んでいます。今月号の表紙および2・3面では、本市の学校で活躍する先生たちの姿を紹介しています。児童生徒の皆さんが、より良い学校生活を送れるように、一緒に取り組んでくれる先生がたくさんいますので、どうぞ安心して学校に来て下さい。きっと素敵な先生や友だちに出会えると思います。

さて、今年度の重点的な取組みについて、いくつかご紹介します。学びを支える教育環境の充実にあたり、老朽化した学習用机椅子の更新を計画的に進めます。専門性の高い指導を推進するために小学校の専科非常勤講師を増員します。また、ギガタブを効果的に活用し、多様な学びを創出します。

このほか、学校施設への不法侵入を抑止するために、防犯カメラの設置を令和7年度末までに全校で完了します。

生涯学習においては、来年6月に迎える「千葉開府900年」に向けて、千葉氏をはじめとする郷土の歴史への理解促進を図るために、郷土博物館の展示リニューアルを進めます。

今年度も、学校・家庭・地域・行政の4者が連携し、安全で安心な教育環境づくりに取り組んでまいりたいと考えますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

関係の主な事業

の充実

● スクールカウンセラー活用

小学校の配置時間を拡充することにより、不登校やいじめなどの諸課題に対する教育相談支援体制の充実を図ります。



生涯学習の推進

● 特別史跡加曾利貝塚新博物館の整備

従来の観るだけの展示とは異なり、体験し触れることのできるコンテンツを重視した展示空間を創出することで、縄文文化の魅力を知っていただき、何度も訪れたいような博物館を整備します。

● アフタースクール

希望するすべての子どもたちに安全・安心な居場所と多様な体験・活動の機会を提供するため導入校を拡充します。

授業づくり等、準備をした分だけ、子どもたちの反応にあらわれます。子どもたちの「できた!」「わかった」が私の喜びです!



一人ひとりのよさを認め、クラス全体に広められるよう心がけています。子どもたちがお互いのよさを伝え合っている姿を見た時、とてもうれしかったです。

いつもいっしょに遊んでくれます。いっしょけんめいな先生がだいすき!
(児童より)

子どもたちから信頼されていますね。自分の課題を自覚し、改善されているところに将来性を感じます。
(初任者指導の先生より)

柏台小

誉田東小

お子さまの学校生活に
心配・不安があったら…

まずは、学校にご相談ください!



「チーム学校」で対応します。担任の先生以外に、保健室の先生やスクールカウンセラーにも相談ができます。保護者の方の心の安定が、お子さまの心の安定につながります。お気軽にご相談ください。

相談できる先生がたくさんいます

担任の先生、学年主任、管理職
その他、話しやすい先生 など

学校の中で専門的な相談ができる人

保健室の先生、スクールカウンセラー

A

チーム学校



連絡帳に書く

学校に電話する

懇談会や説明会
の日に話す

A

こんな方法があります

Q

誰に相談すれば良いの?

授業ってどんな様子かな?

登下校しっかりできるかな?

Q

どうやって相談すれば良いの?

勉強についていけるかな?

新しい環境になじめるかな?

友達できるかな?

お子さまが教室に入れなくて
悩んでいる時は…

お子さまの状況に応じた支援や居場所について、一緒に考えていきます!

電話相談 (教育センター)

電話相談員がお話を伺います。
☎043-255-3702

まずは話を
聞いてほしい

登校はできるが
教室に入れない
校内で教室以外の
居場所を探している

学校にご相談ください。

来所相談 (教育センター)

経験豊かな相談員が、保護者と
お子さん、それぞれのお話を伺います。

不登校について
相談したい

学校以外の
居場所を
探している

教育支援センター「ライトポート」
教育センター 「グループ活動」

学習や活動、スポーツなど
に少人数で取り組みながら、
社会的な自立を支援します。



ひきこもりがち
なので、訪問して
心のケアをしてほしい

家庭訪問相談

相談員やカウンセラーが家庭を訪問し、
状況に応じた教育相談を行います。

同じような
状況にある方と
話をしたい

保護者の交流会

保護者同士が語り合い、聞き
合う場です。教育センターで
毎月1回実施しています。

問い合わせ 教育センター TEL 043-255-3702

令和6年度

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果から

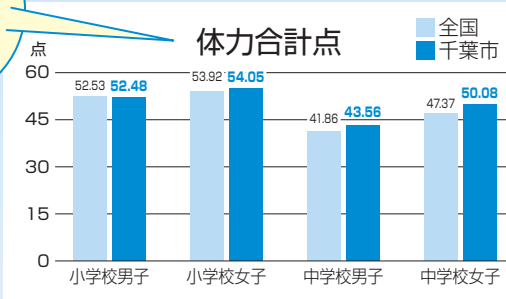
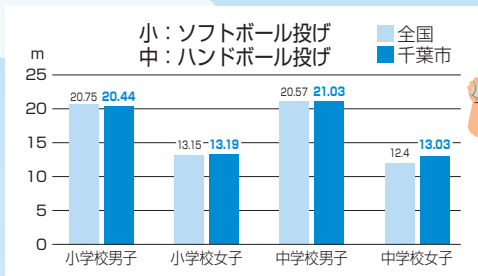
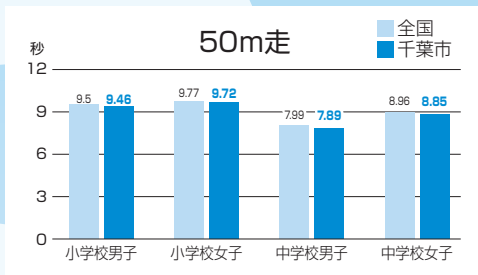
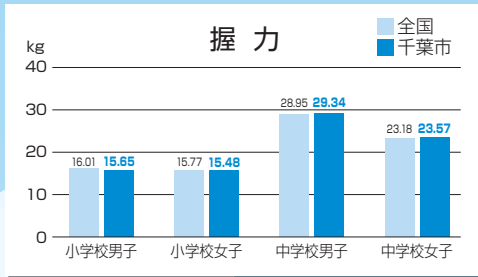
「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」はスポーツ庁が児童生徒の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握するために毎年小学5年生と中学2年生を対象に実施しています。



調査結果は市のホームページで公開しています。



1 実技調査の結果 (一部抜粋)

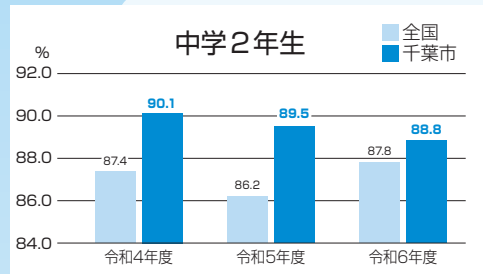
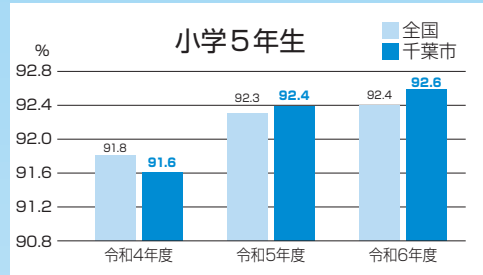


全国(公立)の平均値と比較すると小学生は男子が同等でした。小学生女子、中学生は男女ともに上回りました。

業間休みに体力・運動能力アップ!

2 児童生徒質問紙調査の結果 (一部抜粋)

「体育・保健体育の授業は楽しいですか。」



千葉県では、体育の学習を「楽しい」と感じている子どもが全国と比較して多いです。

子どもたちが、さらに運動が好きになるよう次のことを大切にします。

- 運動の楽しさや喜びを十分に味わえる授業の工夫
- 体力の向上に向けた取組みの推進
- ICTを効果的に活用した授業づくり



授業の中で体力作り!

鉄棒タイム



マラソン週間



体力・運動能力は子どもの時期に大きく伸びます。運動習慣や良い生活習慣を身に付けることが、生涯にわたり健やかに生きるための資質・能力の育成につながります。

子どもや若者を育み、一人ひとりが尊重される社会を目指して

千葉市子ども・若者基本条例が制定されました

市では、子どもや若者の施策を重要なものと考え、様々な取組みを進めてきました。増加する児童虐待事案、ヤングケアラーや社会生活を円滑に営む上で困難に直面する若者への支援など、子どもや若者をめぐる課題に対応するため、市の責務や、市民の役割などを定めた条例が制定されました。

市の責務

- 子どもや若者が健やかに成長・自立するための切れ目のない支援
- 市民が条例を理解するための周知啓発
- 社会全体で子どもや若者、子育て家庭を支援する機運の醸成
- 子どもや若者の社会参画の促進 など

家庭の役割

- 子どもが愛され守られていると感じられるよう努めること
- 子どもの個性や発達等に応じた支援に努めること
- 子どもの自己肯定感などの充足に努めること など

社会全体で
子どもや若者の
健やかな
成長・自立を支援

学校などの 施設・団体、事業主 の役割

- 子どもや若者の権利を尊重し、その侵害を防ぐための措置に努めること
- 施設・団体の運営に当たって子どもや若者の意見を聴き、可能な限り反映に努めること
- 労働者が子育てと仕事を両立できるように努めること など

市民の役割

- 子どもや若者に関する施策への協力に努めること
- 身近な地域において子どもを見守り、虐待等を受けている子どもの救済に努めること
- 社会生活を円滑に営む上で困難がある若者への支援に努めること など

子どもの権利

条例では以下の5つの権利を子どもの権利として定めています。

- ① 安心して生きる権利
- ② 自分らしく心豊かに育つ権利
- ③ 自分を守り、守られる権利
- ④ 自分に関することを自分で決める権利
- ⑤ 社会に参画する権利

問い合わせ 子ども企画課子ども若者支援室 TEL 043-245-5673

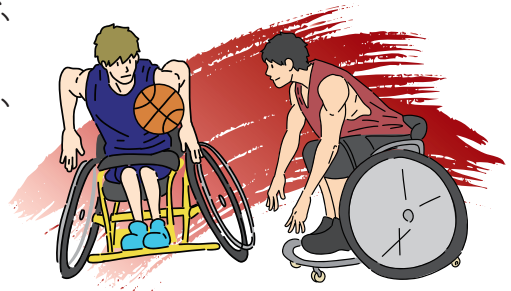


教育委員会では、様々な専門知識を持った教育委員が活動しています。
昨年10月に就任した教育委員を紹介します。

杉山 浩と申します。私は、20歳の時に仕事上の事故により左足を失いました。それからは車いすでの生活になりましたが、車いすバスケットボール競技に出会い、「千葉ホークス」というチームに所属し、日本代表としてパラリンピックにも出場しました。また、市内の小・中学校への「パラアスリート学校訪問」による講話や競技体験会を通して、子どもたちと楽しく交流を行ってきました。

突然障害者になったとき、一度人生の目標を見失いましたが、“出会い、目標、夢”、この言葉を大切に日々を過ごしてきました。子どもたちの目線に立ち、自身の経験を活かしながら、未来に向かって成長していく子どもたちが健常者も障害者も分け隔てなく、楽しく元気に成長できるように、教育を通して伝えていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願ひいたします。



問い合わせ 総務課 TEL 043-245-5903

千葉市 未来の科学者育成プログラム

理科 数学に興味関心のある人
将来理工系を目指している人 **大募集!**

募集締切
5/14 水

今年で14年目 受講生総数約900人! 多くの先輩方がこのプログラムで学んでいます

講座参加コース

大学教授や企業の研究員など、専門の先生から最新の科学を学びます。特殊な装置や実験器具も体験できます。

年間約30の講座から、10~20程度を選んで参加します。



課題研究コース

自分で決めたテーマについて探究します。研究の進め方やまとめ方、発表の仕方などを支援する講座があります。



実施期間 令和7年6月15日~令和8年1月18日
対象 市内在住または在学の中学生、高校生
定員 80名程度 費用 無料

小学生対象の「未来の科学者育成プログラムジュニア」もあります。講座の1~2ヵ月前の市政だよりにてご案内します。

問い合わせ 生涯学習振興課 TEL 043-245-5958 詳しくは [令和7年度 未来の科学者育成プログラム](#)



対象施設を
無料または**割引**
で利用できる!

小中学生だけが使える ふれあい パスポート



対象：市内在住・在学の小中学生

映画館、温水プール、科学館、プロスポーツ
チームの試合観戦など、19施設で使えます。
対象の施設や利用方法など詳しくは、
ふれあいパスポートをご覧ください。
市のホームページでもご案内しています。



令和7年度 新規対象施設

千葉ウシノヒロバ
(若葉区富田町)



市内在学のお子さんには、学校で配布済です。
市内在住で市外の小中学校に通うおさんは、
最寄りの区役所総務課でお受け取りください。

「ふれパス」
ホームページ



問い合わせ 企画課 TEL 043-245-5908



縄文春まつり

5月5日 **月・祝** 10:00~15:00 ※荒天の場合中止
加曾利貝塚博物館・加曾利貝塚縄文遺跡公園



作って学ぶ縄文体験学習や、公園内を散策
しながら学べるコンテンツ、縄文グッズを販売
する出店など盛りだくさん!
かそりーぬと記念撮影もできます。

体験学習デー

5月3日 **土・祝**・4日 **日・祝**

詳細は博物館ホームページで
順次公開予定



物販風景



体験風景

問い合わせ 加曾利貝塚博物館 (若葉区桜木8-33-1) TEL 043-231-0129 詳しくは